

富津市創生会議 会議録（要旨）

|               |   |
|---------------|---|
| 1 会議の名称       | 第2回「富津市創生会議」  |
| 2 開催日時        | 平成27年6月18日（木）<br>午後2時～午後3時50分   |
| 3 開催場所        | 富津市役所5階 503・504会議室  |
| 4 審議等事項       | 1 今後の進め方<br>2 市の課題と市民委員会のテーマについて  |
| 5 出席者名        | 富津市創生会議委員（15名）<br>浅野 隆、稲村 重夫、岩沢 宏幸、櫛田 直也、小泉 敏、<br>鈴木 裕士、関谷 昇、滝田 一馬、竹内 好美、武次 治幸、<br>中澤 道男、西田 美和子、早見 秀一、平野 都、森田 泰彰<br>事務局<br>副市長 高橋 恭市、総務部長 小泉 義行、<br>総務部参事 池本 幸司、企画課長 重城 祐、<br>企画課企画係長 中山 淳子、企画課主任主事 國吉 功二、<br>企画課主任主事 赤井 聖、企画課主事 牧野 圭吾<br>企画課主任主事 加藤 高之<br>企画課兼務職員 高橋 亮介、飯田 義洋、後藤 寿大、<br>荒木 宏仁<br>一般社団法人構想日本 伊藤 伸、原田 将大 |
| 6 公開又は非公開の別   | 公開・一部公開・非公開   |
| 7 非公開の理由      | 富津市情報公開条例第23条第 号に該当<br>(理由)   |
| 8 傍聴人数        | 10人（定員 20人）   |
| 9 所管課         | 総務部企画課企画係<br>電話 0439-80-1223  |
| 10 会議録（発言の内容） | 別紙のとおり  |

第2回「富津市創生会議」会議録

| 発言者  | 発言内容  |
|------|---|
|      | <p>1 開会</p> <p>2 資料の確認</p> <p>3 会議録署名人の指定<br/>第2回会議録の署名人は下記のとおり<br/>岩沢副会長、櫛田委員</p> <p>4 議題<br/>(1)今後の進め方について</p>                                      |
| 事務局  | (資料1の説明)  |
| 稲村委員 | 富津市民委員会で83名の出席ということだが、年齢等のバランスは取れているのか。   |
| 事務局  | 年齢等はこれから集計する。今後情報提供していく。  |
| 関谷委員 | 市民委員会、事業仕分けの他に、事業の融合、市民参加型の事業への組み替えなど、可能性を探るプロセスはこのスケジュールのなかでどこにあるのか。   |
| 事務局  | 庁内の事務の見直し等は、別途経営改革で行う。  |
| 関谷委員 | 市民とか事業者の取り組み、行政と連携して行う事業、また行政がやっていく部分と交通整理を行って、どのように進めたら効率的なのかいろんな議論が出てくると思う。そういった議論と内部または経営的な観点で見直しが結びついていかないと、今後の具体的な動きにならない可能性があるのか、どんな方針を持っているのか。 |
| 事務局  | 経営改革と戦略策定というのは表裏一体の部分があり、関谷委員の言うように結びつきが必要だ。スケジュール案では第3回会議で事業仕分けの報告等を予定している。  |
| 会長   | いろいろな議論があるかと思うが、実行していく段階で重点化も必要になってくるのかなと思う。  |
| 中澤委員 | アンケートの公表は考えているのか。   |
| 事務局  | 予定している。   |

|      |  |
|------|--|
| 中澤委員 | アンケートの内容をみて、市にとって厳しい意見も出るだろう設問もあり、市のやる気が見えたので、ぜひ公表をお願いしたい。   |
|      | (2) 市の課題と市民委員会のテーマについて   |
| 事務局  | (資料2と資料3の説明)   |
| 中澤委員 | 別紙の円グラフの資料はどこからとったのか。  |
| 事務局  | 市に最初に届いたアンケートの回答の140通のキーワードの部分を集計したもの。オレンジ色の部分が市に対してポジティブな意見、ブルーの部分がネガティブな意見となっていて、不明7、ポジティブな意見76、ネガティブな意見42となっている。  |
| 滝田委員 | 市民委員会が4つのグループに分かれて議論をするということだが、それぞれの内容をつなぎ合わせていくのはどう考えているのか。   |
| 事務局  | 4つのグループのそれぞれのテーマについて相互に関連する部分があるので、グループで重なった意見が出てくるだろうが、広く意見を伺いたい。また市民委員会の意見を取りまとめて創生会議に報告する予定なので、創生会議の場で各テーマの内容をつないでいければと考えている。   |
| 滝田委員 | 創生会議自体でどこまで具体的に目標を定めるのか。<br>経営改革で具体的なものをやるのであれば、この会議はふわっとした目標を3月末迄に定めるのか。  |
| 事務局  | 10月末には具体的なものを可能な限り創生会議で揉んでもらいたい。   |
| 平野委員 | 先のことがイメージで捉えられないが、4つのジャンルがあり、カテゴリーがいろいろあるが、市として実現できそうなものと、そうでないものの選択を狭めて、具体的にしていかないと計画倒れになりそう。   |
| 事務局  | 今後創生会議では国の戦略ビジョンのように基本目標、基本目標を実現するための施策の基本方向、具体的な施策、KPI（重要業績評価指標）といったようなものを定めていくことになる。そこでまず国の基本目標となっている4分野について、富津市ではどうかと委員に意見照会した。<br>次にその回答をカテゴリー別に整理し、大きく4つの分野に整理した。イメージとしては資料2の①から④というのが富津市の基本目標に、その下のカテゴリーが施策の基本的な方向性になってくるのでは |

|      |  |
|------|--|
|      | <p>ないかと思う。このままでは基本目標や基本的な方向性にはならないが、ここに記載された単語をキーワードに議論を進めていくことになるのではないかと思う。</p> <p>議論の中で出された意見を関谷委員の意見のように交通整理をしていって、個人や地域の取組や市の戦略としていきたいと思う。</p> <p>今回はそこまではいかなくて、意見照会の回答に基づいて基本目標となりうるテーマを決定したい。そのテーマについて別途立ち上げる市民委員会で議論し、創生会議にフィードバックして具体的な施策や基本的な方向性を考える際の材料にしていけたらというのが大きな流れ。</p> <p>今回は第1回市民委員会で議論してもらおうテーマについて討論してもらいたい。</p> |
| 会長   | <p>基本目標から話をしていくのがいいのでは。</p>  |
| 事務局  | <p>本来の戦略の立て方としては、まず人口ビジョンがあって、そこに持っていくために富津市が総合戦略として何をやるのかという流れになる。別途並行して作業している人口ビジョンとアンケートを集計した結果を元に議論をするのが本来のやり方。しかし、スケジュールにあるように本年度中に戦略策定するために、まず国の基本目標4項目に基づいて今回話し合っただき、市民委員会にかけて、第3回目の創生会議で市の基本目標を議論することが必要になる。</p>   |
| 浅野委員 | <p>私は創生会議より市民会議のほうが重要だと思っていて、先に市民主体で、住んでいて感じるいろんなことを意見として出して、その意見を踏まえてこの会議で議論していくスタイルのほうがいいのかなと思う。</p>   |
| 事務局  | <p>1回目の市民委員会は会議の概要とグループ分けがメインであり、実質的に議論を始めるのは7月23日の第2回目以降の予定で、スケジュール的に第2回の市民委員会開催後に創生会議を開くのは困難。また何もテーマがない中で市民委員会に議論を求めるのも無理があると考え、今回の創生会議において、市民委員会で議論するテーマを決定したいと考えた。今日の4つの基本目標は市民委員会で話し合っってもらおうテーマになっている。</p>  |
| 榎田委員 | <p>キーワードの集計グラフをどう捉えるか。ポジティブの部分は自然の恵みや過去の歴史など、既にあるもの。ネガティブの部分は人が手を入れなければならない部分であり、つまり人がやらなければいけない部分が全くできていない、と捉えるべき。このグラフだと、「富津市はポジティブ」と見られてしまいかねないため、こういった表現はやめた方がよい。</p>  |
| 鈴木委員 | <p>今回の会議は課題に対して注目しているが、課題という表現自体に</p>  |

|              |   |
|--------------|---|
| <p>櫛田委員</p>  | <p>マイナスイメージを感じる。私は長所を伸ばすほうが大事だと思う。いかにもっと良くするか、近隣より良くするかが大事だと思う。</p> <p>神奈川県から来ると、こんな何もない田舎によく来てくれたとよく言われる。そうではなくて、都会のせせこましいところにいるのではなくて、早くこっちに来たほうが良いという気概を市民が言えるように、市民の側の意識改革やPRが必要なんじゃないかと思う。あとは市民委員会を市民の意見を聞く場ではなく市民の意識を問う場にすれば方向性が見えてくるのではないかな。</p>   |
| <p>竹内委員</p>  | <p>私もいろいろ感じてはいたが、市民の側から動こうという意識が不足していると思う。</p>  |
| <p>西田委員</p>  | <p>課題のまとめ方として、市民ができること、行政が引っ張らなければならないことなどマトリックスで整理し、また相互に連携する部分はゾーンで表記するなど、まとめ方を工夫すれば、市民の方も意見が言い易くなり、議論が深まるのではないかな。</p>  |
| <p>小泉委員</p>  | <p>どうしても引っ越してきた人に対してよそ者意識みたいなものがあるので、引っ越してきた人に、引っ越してきてくれてありがとうという、互いに溶け込もうという市民の意識改革が必要。</p>  |
| <p>早見委員</p>  | <p>第2回の会議で流れができてきたかなと思う。ただ、15人のメンバーはさまざまな人間で構成されているので、事務局にももう少しいろいろと示してもらったほうがやりやすい。</p>  |
| <p>森田委員</p>  | <p>課題について、富津市なりの地方創生というのを考えていくとすれば課題ばかりではなく、もっといいもの、気づかない良いものがあると思うのでそれを広げていかなければ他と同じになってしまう。</p>   |
| <p>岩沢副会長</p> | <p>今日の4つのテーマの整理の仕方についてはこの方向でいいと考える。市民委員会のテーマの決定について事務局の整理した案をベースに追加すべきものなどを議論すべき。</p>   |
| <p>関谷委員</p>  | <p>ストーリーを考慮しておかないとそれぞれの項目が独立してまとまらなくなる。1点目の暮らしは市民のお金の使い方、消費動向、住環境、住宅街のニーズや歴史を調べる、空家問題、地域への愛着、それぞれの団体活動をどうつなぐか、そういう暮らしの視点のグループが1つか2つあってもいいのではないかな。</p> <p>2点目の子育ては若い人たちの獲得と若い世代だけでなく富津市で住み続けて豊かに暮らしていくイメージを示す。</p> <p>3点目の産業、雇用について地域資源のアピール。</p> <p>その3点をつなぐ横串の1点目はそれぞれのテーマについて市民意識のあぶり出し。2点目は誰が何をするのかを明確にする。3点目と</p> |

|      |  |
|------|--|
| 事務局  | <p>してシティプロモーションとするのがいいのではないか。</p> <p>シティプロモーションについては全体にかかわってくることで、横串のほうがいいと思ったが、アンケートでPR不足という意見がかなりあったので、あえて独立させた。</p> <p>もうひとつ、鈴木委員と榎田委員の意見であったキーワードについて、確かに課題というと良くない印象を受けるが、富津市の強みというのもあり、今後の市民委員会でそれぞれテーマでのグループごとに議論を行うので、これをどういったふうに生かしていくのかも考えらる。</p> <p>また榎田委員のネガティブのキーワードについて、他の自治体のアンケートと比べてネガティブなものが多かった。富津市民としてこういったことが意識に多くあるということだ。しかしその分だけ変わらなければいけないという意識があるという意味でチャンスでもある。</p> |
| 榎田委員 | <p>西田委員の言うマトリックスは確かに必要。100 は多すぎるとしても80か90は必要。また行政が対応するもの、地域または企業が行うもの、個人の意識の問題の3項目をあぶりだす必要があると思う。また行政の対応について、行政側の認識と市民側の認識の違いの把握も重要。</p> <p>また新しいものを掘り出すというのも議論として付け加える必要がある。</p>  |
| 会長   | <p>今日の議論を踏まえ、第1回市民委員会の7月5日まで時間があるので市民の方が主体的に動けるように準備をお願いしたい。</p>   |
| 事務局  | <p>(3) その他</p> <p>委員の市内現地視察を予定している。自由参加で7月23日の朝から丸1日程度。ここを見たいという希望があればいただきたい。</p> <p>(終了時刻3時50分)</p>   |

以上